

第26回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和8年3月3日(火)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：岡本委員、大向委員、伊藤委員、稲葉委員、
加藤委員、森本委員、各務委員、水野委員、前田委員、
加知委員、熊崎委員、大山委員、矢野委員

保育幼稚園課：山崎、富田

事務局：教育長、副教育長

教育推進課：南谷

教育総務課：市川、高田、瀬瀬

教育相談室：山中

【欠席者】

委員：笹田委員

教育推進課：丹羽

教育研究所：前田

(要点筆記)

開会	
会長	・第26回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・改めましてこんばんは、多治見市教育長の仙石と申します。 会長から最後というお話がありまして、今回はそういう回になろうかと思ひます。ですから今日は問題となる、要は、こういうのができていないとかそういう話題はないだろうと思ひます。こういう形で完成に向けて近づいているということでのお話になるかといったところですけども、今、会長から令和2年9月にスタートしたという話がありました。実はこの義務教育学校、教育一貫校の話はもう少し前から教育委員会内部でもありましたし、地元でも、もともと笠原地区では笠原の子は笠原で育てるんだという幼保小中一貫教育ということを経つて意識してこられたので、ある意味自然な形でスタートをきったと思ひます。私はそれよりも少し前に教育総務課長をやっております、この話題が教育委員会内部で議論され始めるきっかけくらいの時に丁度おりましたが、その時に強く意識したことを今でも覚えています。小学校と中学校を一緒にするということは、ともすると、あたかも学校の数を減らすだとか、そういう合理化のためにやるんじゃないかという議論が必ず起こってきます。ですが、笠原町の小中一貫校はそういうためにスタートさせるのではないですよ、ということを経つて言わないといけません。そういうこと

を会議の中で色んな方が強調されてきたことを本当によく覚えています。確かに県内で小中一貫校って、本当に過疎地で一学年何人しかいないとかそういうところでは実践があったんですね。でも笠原は今でも一学年二クラスあるし、それなりの規模のところですよ。そういう規模で合併するのではなくて、笠原なりの一貫教育というのを実現するためにやるのだと。そういう中身のことで一貫校をやるんだということでスタートした議論だったと思います。でも逆に言うと、中身で一貫校にしていくと始まったのだから、きっと建物ができても全然完了じゃなくて、建物ができた後、今度の4月から、実際に教育の中身が実質スタートするわけですので、その中で、今言った理想に向けての魂が入っていくような、そんな教育がなされていくことを私自身は期待をしております。

最初の挨拶があまり長くなってはいけませんけれども、最後ですのでもう少しだけお話をさせてください。本当に私は地元の方に感謝しております。この仮設校舎で小学校2年間これまで運営してきましたけれども、一つは、笠原の小学生の子たちの通学がまったく逆方向になったんですね。地域の方たちには、通学路の安全対策とか、ハードではなくてソフト、要は見守りということを本当に一生懸命やっていただきました。これが一つ目の感謝です。また、（仮設校舎に）実際に中に入ると、2階の音が1階でよく聞こえてきて、環境としてはあまり良くなかったと思います。でも、笠原一貫教育の日に地域の方や保護者の方がいっぱい見に来ていただいて、グラウンドで元気いっぱい遊ぶ子供たちを見ていただきましたし、小中一緒にやったスポーツフェスティバルでも、本当にたくさんの方に来ていただきましたし、そうやって、恵まれた環境とはいえなかったかもしれないですけど、盛りあげていただいて本当にありがとうございました。最後にひとつ、教育長という立場なものですから、つついこの会議で出てくると冒頭の挨拶で小中一貫校、義務教育学校のことばかり話してしまいましたが、幼稚園保育園も併せてこども園という形で整備がもう間もなく終わるといいますか、開園にむけて準備が着々と進んでいる状況で、やはり、合わせて笠原の一貫教育、笠原の子は笠原で育てるんだというハード整備がなんとかここで完了する。ただ、こども園のほうも魂がここから入っていくんだろうというように思います。幅広いことを、ああでもないこうでもないと言ってしまうけれども、今日が最後ですので、お礼の気持ちを込めてということと、本当に大事なはこの4月からだ、この2つのことをお話をさせていただいてご挨拶とさせていただきます。本当に色々とお世話になりました。ありがとうございました。

次第 2 現在の検討状況について	
会長	・ 次第 2 「現在の検討状況」について事務局に説明を求めます。 (各ワーキンググループ検討状況について報告・説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。 (特になし)
次第 3 笠原小中学校の動画上映について	
会長	・ 次第 3 「笠原小中学校の動画上映について」、事務局よりよろしくお願いいたします。 (笠原小中学校校内の映像を鑑賞)
会長	・ 只今の映像について、意見・質問等はありませんか。 (特になし)
次第 4 笠原こども園の進捗状況について	
会長	・ それでは続きまして次第 4 「笠原こども園の進捗状況について」、保育幼稚園課よりよろしくお願いいたします。
保育幼稚園	(保育幼稚園課より説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 関係ないかもしれませんが、多治見市のこども園は初めてということですが、今後増えていくようなイメージはありますか。
保育幼稚園	・ 多治見市としてもこども園化は進めていく方向で動いています。といいますのは、幼稚園のニーズが非常に下がっていて、園児数が急激に減っております。やはり保育ニーズの高まり、特に 0、1、2 才の保育ニーズの高まりが非常に顕著になっておりますので、0 才～5 才までが一緒に生活できるこども園の整備を多治見市としても進めていきたいと考えております。
委員	・ なにか具体的に予定はあるのですか。
保育幼稚園	・ 4 月でいうと、今まで旭ヶ丘保育園ということで、指定管理で運営をしておりましたが、これを 4 月から多治見市直営での運営に切り替えまして、今の明和幼稚園と統合しまして、旭ヶ丘こども園という形で準備をさせていただいております。そして、少し先になりますが、今、養正幼稚園、昭和幼稚園、双葉保育園、これを将来的に 3 園統合しまして、認定こども園ということで確保しております。
委員	・ ありがとうございます。ちなみに小中学校の他のイメージはあるんですか。
教育長	・ 笠原とまったく同様の形での小中一貫校というのは、すぐにどこというのはなかなかまだ挙がっておりませんが、ただ笠原はまだしばらく一学年二クラスの人数がいます。ただ他の小学校区で一学年一クラスというところが結構増えてきている中で、議論はこれから深まっていく可能性はあるのかなと思います。あと、一つの可能性として、小学校と中学

	校が笠原のようにひとつの学校になるということではなくて、ひとつの敷地の中に、小学校と中学校が併存するという、併設型を含めての検討が今後始まってくるかもしれないなというふうに思っておりますが、今日の段階でははっきりと具体的にどこがということは決まっておりません。
委員	・当然笠原の調子を見ながら、ということですよ。
教育長	・そうですね、そういうことになろうかと思います。
委員	・少し違う話になってしまうかもしれないですけど、小学校・中学校の古いイスとか机とかの備品をもらえととももらえないとか、そういう話を聞いたことがあります、そういった話ってありますでしょうか。
教育総務	・小学校ではバザーとかといった話がありましたけども、中学校につきましては、その予定は今のところございません。
会長	・笠原こども園の募集というのは、いつ頃されるのですか。
保育幼稚	・すでに終了いたしました。
会長	・するとこの笠原こども園というのは、大体が笠原の子どもたちが通うのでしょうか。
保育幼稚	・そうですね、笠原の地域の方のお子様が多いです。やはり笠原の子は笠原で育てたいという思いが強いのだろうなと感じるような結果です。
委員	・少し違うかもしれないですが、笠原小を卒業して、笠原中に通わない生徒というのは今どれくらいいるのでしょうか。
笠小校長	・今年度については、今のところ1名の予定です（6年生から7年生にあたっては）。その年によってばらつきがあります。
委員	・かつては10名ほどいたような気がします、そうでもなくなったんですね。
笠小校長	・そうですね。
会長	・その他、質問等ありませんでしょうか。 (特になし)
次第5 第二期笠原小中学校グラウンド整備について	
会長	・次第5 「第二期笠原小中学校グラウンド整備について」教育総務課に説明を求めます。
教育総務	(教育総務課より説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・テニスコートやバスケットコートは一般市民でも借りられるようになる予定なののでしょうか。
教育総務	・もともと笠原中学校は貸し出ししていたので、今後の議論になると思うのですが、市の他の施設のように貸し出しされるような動きになると思います。
委員	・体育館や武道場もそうですね。

教育総務 教育長	・そうですね。4月から始まる予定です。 ・体育館について、一つ厳しいお話をしますが、笠原小中学校の体育館はエアコン完備をしております。ただし、他はまだエアコンが入っていないです。エアコンを使われる場合には、エアコンの実費を頂きますが、結構高い値段になってしまいます。本当に申し訳ないのですが、エアコンの電気代だけは頂くという形になります。
委員	・エアコンを使わない場合はいいですね。
教育長	・エアコンを使わない場合はもちろん頂きません。
委員	・エアコンを使う基準はあるのですか。
笠中校長	・暖房は、ストーブも10℃をきったらという基準があるのですが、体育館や武道場という機能なので、集会もあります。一番は運動しやすい適温のところで、というように考えています。
会長	・その他、質問等ありませんでしょうか。 (特になし)

次第6 その他

会長	・続きまして、次第6「その他」について、今回は最後の研修会になりますので、委員の皆様からご感想を頂けたらと思います。
委員	(各委員より感想)
会長	・ではその他、全体で何か質問はございますか。 (特になし)

副教育長挨拶

会長	・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。
副教育長	・最後にお話をするのはとても僭越ではございますが、私がこの笠原小中学校について関わったのは、笠原小学校の学校運営協議会が立ち上がった頃に運営協議会にて、こういう（教育一貫校、義務教育学校のような）学校運営の形もあると話題にあがりまして、当時は小中を一緒にするというのはいかばかりの批判があったりしました。ただ私たちとしては、全国の義務教育学校を見ながら、内面でそういった教育って素晴らしいよねという視点で、色々なところに見学もしに行きまして、これが実現できるといいなと思いながら、見守ってきたところでありました。実際にありがたかったのは、この笠原小中学校が開校する前から一緒に子どもたちが生活をし、色々なコラボが生まれて、結果、これはできそうだと実感できたこともよかったかなと思っています。本当に校舎もピカピカですごくわくわくしましたし、子どもたちがここで生き生きと活躍してくれることを本当に楽しみにしております。やがてここで色々な事が成果としてあがることを、他の地域の多治見の子どもたちにもなにか還元できるように、そこも私たちは考えていきたいと思っております。そ

	のためにはこの笠原の子どもたちが笑顔で生活できることを大人たちがみんなでバックアップをしていく、成功へ必ず導いていけるように努力して参りたいと思っておりますので、今後とも引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。長い期間のご協力、本当にありがとうございました。
--	---

閉会

会長	・ありがとうございました。それではこれもちまして、第 26 回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会いたします。皆さまどうもお疲れ様でございました。
----	---

—以上—